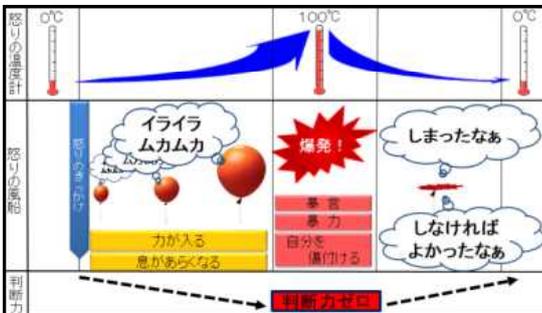
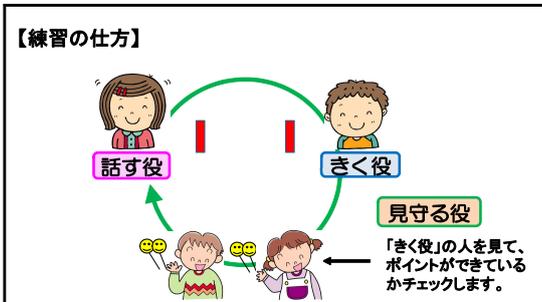


2 研究の実際 > (3) ピア・メディエーションに関する活動プログラム

イ 活動プログラムの指導計画

小学校の活動プログラム(全6時間)

時	内容	活動名	活動内容
1	怒りに ついて 知る	<p>「怒りについて考えよう」</p>  <p>自分の怒りの温度を測ってみよう！</p> <p>次のようなとき、あなたはどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計に色をぬりましょう。 イライラしていないときの温度を0℃、怒りが爆発するときの温度を100℃とします。</p> <p>(例) 今から勉強しようと思っていたのに、家の人から「勉強しなさい」と言われた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが起きるときに抱く、様々な感情の1つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、人によって怒りの感じ方が違うことに気付きます。
2		<p>「怒りと上手に付き合おう」</p>  <p>怒りのコントロールの仕方②</p> <h3>カウントアップ</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の中で、ゆっくりと数を数えます。 2. 1から順に少なくとも5以上、できれば10以上数えます。 <p>※ 気持ちが落ち着くまで数えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・怒りの仕組みと【怒りへの対処法】について学習します。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化して、怒りの仕組みについて理解します。 ・【怒りへの対処法】として、その場で1人でできる対処法を体験します。 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【怒りへの対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 深呼吸 ② カウントアップ ③ 自分への声掛け </div>
3	トラブル	<p>「トラブルにならないようなきき方を練習しよう」</p>  <p>【練習の仕方】</p> <p>話し役、きく役、見守る役</p> <p>「きく役」の人を見て、ポイントができているかチェックします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになりそうな場面での聴き方について学習します。 ・聴き方のモデリング（動画）を見て、【聴き方のポイント】について理解します。 ・【聴き方のポイント】を意識して練習します。 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【聴き方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手の顔を見て聴く ② うなずきながら聴く ③ 相づちを打ちながら聴く ④ 最後まで聴く </div>

<p>4</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">未然防止のスキル</p>	<p>「トラブルにならないような話し方を練習しよう」</p> <p>【話し方のポイント】</p> <p>① やさしく話す ② はっきりと話す</p> <p>A: どちらがかたづける？昨日も、ぼくがかたづけたよね。 B: うん。 A: 2回連続でかたづけるのはいやだから、今日はかたづけてもらっていい？ B: ぼくもかたづけるのいやだな。 A: じゃあ、今日はぼくがかたづけるから、次は2回連続でかたづけてくれる？ B: うん、分かった。 A: ありがとう。</p> <p>③ 自分の気持ちを伝える ④ 相手がなっとくするような提案をする</p> <p>2回目のせりふを考えて、練習をしましょう</p> <p>Aさん…話す役 Bさん…きく役</p> <p>A: この本、1冊しかないんだよね。 B: うん。 A: <u>自分の気持ちを伝える</u> B: え～、ぼくが先にこの本借りたいな。 A: <u>相手がなっとくするような提案をする</u> B: うん、分かった。 A: ありがとう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・話し方のモデリング（動画）を見て、【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】を意識して練習します。 <p>【話し方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① やさしく話す ② はっきりと話す ③ 自分の気持ちを伝える ④ 相手がなっとくするような提案をする
<p>5</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">トラブル解決のスキル</p>	<p>「友達のトラブルを解決する方法を考えよう」</p> <p>休み時間に2人がもめています トラブルの場面</p> <p>今、ろう下走っていたでしょ？！ は？何言ってるの？走ってないよ。</p> <p>Bさん Aさん</p> <p>Cさん</p> <p>Cさんがどのようなことに気を付けて、トラブルを解決しているのかを考えましょう</p> <p>【練習の仕方】</p> <p>Cさん (間に入る役) トラブル解決のポイントを意識しながら間に入ってみましょう！</p> <p>Cさん (間に入る役) Aさん Bさん</p> <p>見守る役</p> <p>「Cさん」を見て、ポイントができていないかチェックします。他にも、良いところを見つけましょう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。 ・「A L ' Sの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリング（動画）を見て、【トラブル解決のポイント】について理解します。 <p>【トラブル解決のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2人の真ん中に立つ ② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう ③ 相手の話を最後まで聴くことを確認する ④ 2人の言い分を確認しながら交互に聴く ⑤ 自分の考えや意見を出さない <p>※トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p>
<p>6</p>		<p>「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブルの場面でのロールプレイを行います。

教育課程への位置付け<小学校>

◆小学校第4学年の学級活動の年間指導計画に位置付けた例
(学校により、学校行事の時期が異なることが考えられます)

月	主な学校行事	時数	題材・活動	活動内容項目		活動プログラムの位置付け例
				(1)	(2)	
4	始業式 歓迎会	1	こんな学級にしたいな	○		
		2				
		3				
5	新体力テスト	4	話し合いの進め方について	○		
		5				
		6				
6	日曜参観	7	男女なかよくしよう	ウ	【1】怒りについて考えよう	
		8	図書室の利用		オ	
		9	おいしい給食		キ	
7	平和集会 終業式	10	平和集会に向けて		ア	
		11	楽しいグループ活動	ウ	【2】怒りと上手に付き合おう	
		12	夏休みの計画		イ	
9	始業式 運動会	13	運動会をがんばろう	○		
		14				
		15				
		16				
10	バス旅行 スケッチ会	17	友達のよさを再発見しよう	ウ	【3】トラブルにならないようなきき方を練習しよう	
		18	読書の秋を楽しもう	○		
		19				
		20				
		21				
11	学校祭 (〇〇祭)	22	目を大切に		カ	
		23	言葉遣いについて考えよう	ウ	【4】トラブルにならないような話し方を練習しよう	
		24	きれいな教室		エ	
12	終業式	25	相手の気持ちを考えて	ウ	【5】友達のトラブルを解決する方法を考えよう	
		26	思いやりのある行動	ウ	【6】友達のトラブルを解決する方法を練習しよう	
1	始業式	27	寒さに負けない生活をしよう	○		
		28				
		29				
		30				
2	縄跳び大会 お別れ集会	31	縄跳び大会をがんばろう	○		
		32				
		33				
3	卒業式 修了式	34	1年間でふりかえろう	○		
		35				

※活動内容項目(1)については、全ての項目を網羅しており、○と記載しています。

※活動プログラムは、以下の教育課程でも実施することが考えられます。

- ・総合的な学習の時間
- ・国語【A 話すこと・聞くこと】

2 研究の実際 > (3) ピア・メディエーションに関する活動プログラム

イ 活動プログラムの指導計画

中学校の活動プログラム(全5時間)

時	内容	活動名	活動内容
1	怒りについて知る	<p>「怒りについて考えよう」</p> <p>自分の怒りの温度を測ってみよう!</p> <p>あなたは、次のようなときどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計に色を塗りましょう。 怒りが全くないときの温度を0℃、怒りが爆発するときの温度を100℃とします。</p> <p>(例) 下校時、隣の人が開いた傘が、自分の顔に当たった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが起きるときに抱く、様々な感情の1つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、人によって怒りの感じ方が違うことに気がきます。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化して、怒りの仕組みについて理解します。
2		<p>「怒りと上手に付き合おう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【怒りへの対処法】として、その場で1人でできる対処法を体験します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【怒りへの対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 深呼吸 ② カウントアップ ③ 自分への声掛け ④ リフレーミング </div>
3	トラブル未然防止のスキル	<p>「トラブルにならないような話し方を練習しよう」</p> <p>トラブルになりそうな場面①</p> <p>次の国語の授業で、グループの意見をまとめて発表することになりました。 グループ内の役割決めをしています。 AさんかBさんがグループ代表の発表者をしなければいけません。</p> <p>Aさんは、Bさんに頼もうとしています</p> <p>あなたがAさんだとしたらBさんにどのように頼みますか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・話し方のモデリング（動画）を見て、【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】を意識して練習します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事実（問題）を確認する ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する ④ 解決につながる提案をする </div>
		<p>【モデリング Ⅲ】</p> <p>A: ねえ、あのさ。 B: なに? A: 国語の発表者を決めないといけないね。 B: うん、そうだったね。 A: この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいたんだけど。よかったらBに国語の発表をやってもらいたいなあ。 B: う～ん、嫌だよ。でも発表の原稿づくり、自信がないんだ…。 A: 発表の原稿づくりだったら、できそうだよ。手伝うよ。 B: じゃあ、分かった。やってみる。 A: ありがとう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないような【聞き方のポイント】を確認します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【聞き方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手を見てうなずきながら聴く ② 最後まで聴く ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く </div>

<p>4</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">トラブル解決のスキル</p>	<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">「友達のトラブルを解決する方法を知ろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>あなたがCさんなら、どのように声を掛けますか？</p> <p style="color: #FF4500;">トラブルの場面</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: #FF4500;">トラブルの場面②</p> <p style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">放課後、係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">Cさんの台詞を考えましょう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 間に入ることを確認する 「もめごとを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな」 ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる 「話を聴かせてもらう前に、相手の話を最後まで聴くというルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？」 ③ くり返ししながら平等に聴く 「〇〇ということだね。Bさん、どうですか？」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。 ・「A L' Sの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリング（動画）を見て、【トラブル解決のポイント】について理解します。 <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">【トラブル解決のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く ④ 解決案を出さない <p>※トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p> </div>
<p>5</p>	<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【練習の仕方】</p> <p style="font-size: 0.8em;">Cさん 間に入る役 自分の書いたシナリオで間に入っていきましょう！</p> <p style="font-size: 0.8em;">Aさん Bさん</p> <p style="font-size: 0.8em;">観察役 「Cさんを見て、ポイントができていないかチェックします。他にも、良いところを見つけて書きましょう！」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブルの場面でのロールプレイを行います。 ・4人グループで、役割を交代しながら、全ての役を体験します。

教育課程への位置付け<中学校>

◆中学校第2学年の学級活動の年間指導計画に位置付けた例
(学校により、学校行事の時期が異なることが考えられます)

月	主な学校行事	時数	題材・活動	活動内容項目			活動プログラムの位置付け例
				(1)	(2)	(3)	
4	始業式	1	2年生になって		ア		
		2	学級目標づくり	イ			
		3	1学期学級組織づくり	イ			
		4	生徒会活動への参画	ウ			
5	生徒総会 体育大会	5	学校行事への参画意識		ウ		
		6	集団生活の向上		ウ		
		7	学ぶことの意義			ア	
		8	働くことの意義			エ	
6	教育相談	9	将来の生き方と職業			オ	
		10	生活習慣の改善		キ		【1】怒りについて考えよう
		11	保健指導		キ		【2】怒りと上手に付き合おう
7	終業式	12	規律ある生活		ケ		
		13	1学期の反省	ア			
		14	夏休みの計画			イ	
9	始業式	15	2学期学級組織づくり	イ			
		16	思いやりの気持ちを育てる		オ		【3】トラブルにならないような話し方を練習しよう
		17	不安や悩みの解決		ア		
		18	ボランティア活動の理解		カ		
10	スケッチ会	19	自立への一歩	ウ			【4】友達のトラブルを解決する方法を知ろう
		20	自己と集団をみつめなおす	ア			【5】友達のトラブルを解決する方法を練習しよう
11	文化発表会 生徒会長選挙	21	生徒会新リーダーへの協力	ウ			
		22	男女相互の協力		エ		
		23	私の夢と希望			ウ	
12	終業式	24	心と体の成長		ク		
		25	2学期の反省	ア			
		26	有意義な冬休みの生活			イ	
1	始業式	27	冬休みの反省と3学期の目標	ア			
		28	3学期学級組織づくり	イ			
		29	1年後の自分を考える			オ	
2	立志式	30	立志式で学んだことを生活に生かす		ウ		
		31	先輩への思いを込めて		ウ		
		32	友情と思いやり		イ		
		33	1年間の反省	ア			
3	卒業式 修了式	34	春休みの過ごし方			イ	
		35	学級解散式		オ		

※活動プログラムは、以下の教育課程でも実施することが考えられます。

- ・総合的な学習の時間
- ・保健体育 保健分野【(1)エ 欲求やストレスの対処法と心の健康】

2 研究の実際 > (3) ピア・メディエーションに関する活動プログラム

イ 活動プログラムの指導計画

高等学校の活動プログラム(全3時間)

時	内容	活動名	活動内容
1	怒りについて知る	<p>「怒りについて学ぼう」</p> <p>1. 自分の怒りの温度を測ってみよう!</p> <p>あなたは、次のようなときどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計の目盛りで線を入れましょう。 怒りが全くないときの温度を0℃、怒りが爆発する温度を100℃とします。</p> <p>(例) 下校時、隣の人が開いた傘が、自分の顔に当たった。</p> <p>怒りの温度計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが起きるときに抱く、様々な感情の1つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、人によって怒りの感じ方が違うことに気付きます。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化して、怒りの仕組みについて理解します。 ・【怒りへの対処法】として、その場で1人でできる対処法を体験します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【怒りへの対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 深呼吸 ② カウントアップ ③ 自分への声掛け ④ リフレーミング </div>
2	トラブル未然防止のスキル	<p>「トラブルにならないような話し方を学ぼう」</p> <p>【話し方のポイント】</p> <p>①「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」 → ①事実を確認する</p> <p>②「もう1回読み直したいんだけど」 → ②自分の気持ちを伝える</p> <p>③「明日持ってきてくれる？」 → ③相手にどうしてほしいのかを提案する</p> <p>④「前のを返してくれたら、新しいのを貸すっていいのどう？」 → ④別の提案をする</p> <p>トラブルになりそうな場面②</p> <p>掃除の時間、教室掃除担当のAさんは、いつも楽なほうきの仕事ばかりだが、同じ班のBさんに黒板拭きばかりが回ってきて、Bさんは嫌な思いをしています。 今から、Bさんは、Aさんに掃除の仕事を交代してほしいと言に行きます。</p> <p>Bさんは、Aさんにどのような言い方をすればよいでしょうか？ Bさんの台詞を考えて、ワークシートに記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・話し方のモデリング(動画)を見て、トラブルにならないような【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】を意識して練習します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事実を確認する ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する ④ 別の提案をする </div> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないような【聞き方のポイント】を確認します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【聞き方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手を見てうなずきながら聴く ② 最後まで聴く ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く </div>

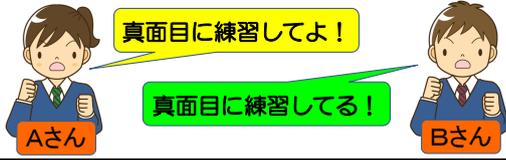
3

トラブル解決のスキル

「友達のトラブルを解決する方法を学ぼう」

【トラブルの場面】

部活動で、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習している」と言って、AさんとBさんがもめています。

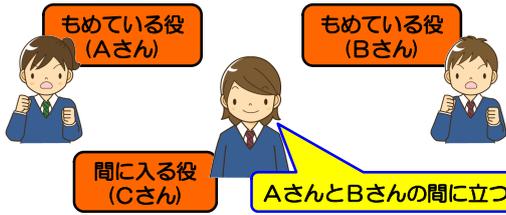


【トラブル解決のポイント】

- ① 間に入ることを確認する
- ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ 2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

※ 自分たちで解決が難しそうな場合は、大人に相談する

<練習1回目>



- ・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。
- ・「A L' Sの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリング（動画）を見て、【トラブル解決のポイント】をまとめます。

【トラブル解決のポイント】

- ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する
- ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

※自分たちで解決が難しそうな場合は、大人に相談する

- ・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブルの場面でのロールプレイを行います。

教育課程への位置付け<高等学校>

◆高等学校第1学年の学級活動の年間指導計画に位置付けた例
(学校により、学校行事の時期が異なることが考えられます)

月	主な学校行事	時数	題材・活動	活動プログラムの位置付け例
4	入学式 始業式 宿泊研修	1	学級指導	【1】怒りについて学ぼう
		2	学級指導	【2】トラブルにならないような話し方を学ぼう
		3	心理検査	
		4	宿泊研修事前指導	
5	生徒総会 中間考査	5	学年集会	
		6	中間考査	
		7	生徒総会	
		8	高校総体壮行会	
6	高校総体 期末考査	9	キャリアワーク①	
		10	第1回進路ガイダンス	
		11	課題学習①	
7	クラスマッチ 終業式	12	期末考査	
		13	性教育講話	
		14	服装・頭髪検査	
9	始業式 文化祭・体育祭	15	文化祭・体育祭準備	
		16	生徒会長立会演説会・投票	
		17	学年集会	
10	中間考査	18	交通安全講話	
		19	中間考査	
		20	第2回進路ガイダンス	
11	期末考査	21	防災避難訓練	
		22	人権同和教育講話	
		23	期末考査	
12	クラスマッチ 終業式	24	キャリアワーク②	
		25	薬物乱用防止講話	
		26	学級指導	【3】友達のトラブルを解決する方法を学ぼう
1	始業式	27	学年集会	
		28	ネットエチケット講話	
		29	課題学習②	
2	学年末考査	30	第3回進路ガイダンス	
		31	服装・頭髪検査	
		32	学年末考査	
3	卒業式 修了式	33	キャリアワーク③	
		34	学年集会	
		35	1年間の反省	